

平成 24 年 (2012 年)

[I] 著 書

- 1) 田尻 達郎. 新生物(悪性腫瘍) 肝腫瘍. 小児内科 44 巻増刊 小児疾患の診断治療基準 (第 4 版) 東京: 東京医学社. 590-591, 2012.

[II] 総 説

- 1) 田尻 達郎. 臨床医の観点からの小児がんにおけるトランスレーショナルリサーチ. 京都府立医科大学雑誌 121: 595-605, 2012.
- 2) 田尻 達郎. 神経芽腫の治療の現況と展望. 日本小児血液・がん学会雑誌 49: 366-372, 2012.

[III] 原 著

A) 英文

- 1) Tajiri T, Kimura O, Fumino S, Furukawa T, Iehara T, Souzaki R, Kinoshita Y, Koga Y, Suminoe A, Hara T, Kohashi K, Oda Y, Hishiki T, Hosoi H, Hiyama E, Taguchi T. Surgical strategies for unresectable hepatoblastomas. J Pediatr Surg 47: 2194-2198, 2012.

B) 和文

- 1) 坂井 宏平. 周産期医療部を有した大学病院における低出生体重児の外科治療成績 小児外科 44: 1050-1053, 2012.

[IV] 学会発表

A) 国際学会

- 1) Tajiri T, Fumino S, Furukawa T, Ono S, Kimura O, Iehara T, Hosoi H, Souzaki R, Kinoshita Y, Koga Y, Suminoe A, Hara T, Kohashi K, Oda Y, Hiyama E, Taguchi T. Surgical strategies for unresectable hepatoblastomas in Japan. 45th Annual Meeting of Pacific Association of Pediatric Surgeons. 2012 Jun 3-7; Shanghai, China.
- 2) Fumino S, Tanaka T, Aoi S, Furukawa T, Kimura O, Tajiri T. Potential risk and clinical implication of liver fibrosis in choledochal cyst. 45th Annual Meeting of Pacific Association of Pediatric Surgeons. 2012 Jun 3-7; Shanghai, China.
- 3) Kimura O, Fumino S, Aoi S, Furukawa T, Tanaka T, Tajiri T. Therapeutic strategy for recurrent tracheoesophageal fistula. 45th Annual Meeting of Pacific Association of Pediatric Surgeons. 2012 Jun 3-7; Shanghai, China.
- 4) Furukawa T, Kimura O, Higuchi K, Fumino S, Aoi S, Tajiri T. Outcome of our novel technique in laparoscopic inguinal hernia repair in children. 23rd Congress of the Asian Association of Paediatric Surgeons. 2012 Oct 8-10; Seoul, South Korea.
- 5) Fumino S, Kimura O, Furukawa T, Aoi S, Iehara T, Hosoi H, Tajiri T. Clinical features and surgical intervention of renal tumors diagnosed during early infancy. 44th Congress of the International Society of Paediatric Oncology. 2012 Oct 5-8; London, United Kingdom.

- 6) Tajiri T, Kimura O, Fumino S, Furukawa T, Ono S, Iehara T, Souzaki R, Kinoshita Y, Koga Y, Suminoe A, Hara T, Kohashi K, Oda Y, Hishiki T, Hiyama E, Hosoi H, Taguchi T. Surgical strategies for hepatoblastomas with PRETEXT III or IV. 44th Congress of the International Society of Paediatric Oncology. 2012 Oct 5-8; London, United Kingdom.

B) 特別講演, 招聘講演, 基調講演, 教育講演など

- 1) 田尻達郎. 神経芽腫の治療の現況と展望—胎児診断例から年長児高リスク群例まで—【教育講演】. 小児・周産期専門教育分野教育セミナー. 2012年1月26日; 筑波.
- 2) 田尻達郎. QOLを重視した小児がんに対する外科治療【教育講演】. 第34回近畿小児がん研究会. 2012年3月10日; 大阪.
- 3) 田尻達郎. 小児固形悪性腫瘍におけるトランスレーショナルリサーチ【特別講演】. 京阪泌尿器腫瘍研究会. 2012年3月16日; 京都.
- 4) 田尻達郎. QOLを重視した低侵襲小児外科手術【特別講演】. 第420回日本小児科学会京都地方会. 2012年5月26日; 京都.
- 5) 田尻達郎. 神経芽腫の治療の変遷と展望【特別講演】. 第68回日本小児科学会滋賀地方会. 2012年10月13日; 滋賀.
- 6) 木村 修. 若さを科学する—アンチエイジング学入門—【特別講演】. 財団法人ルイ・パストゥール医学研究センター・バイオソサエティー医学入門講座. 2012年8月27日; 京都.

C) シンポジウム, ワークショップ, パネルディスカッションなど

- 1) 古川泰三, 木村 修, 竹内雄毅, 樋口恒司, 文野誠久, 青井重善, 田尻達郎. 当院における生後24時間以内発症の先天性横隔膜ヘルニアに対する集中治療管理. 【シンポジウム; CDH】 第28回日本小児外科学会秋季シンポジウム 2012年11月3日; 静岡.
- 2) 古川泰三, 木村 修, 文野誠久, 青井重善, 田尻達郎. 難治性 Hirschsprung 病及び類縁疾患における治療戦略. 【シンポジウム; Hirschsprung 病類縁疾患の治療戦略】 第37回日本外科系連合学会学術集会 2012年6月29日; 九州.

D) 一般講演 (ポスター発表を含む)

- 1) 文野誠久, 古川泰三, 小野 滋, 木村 修, 土屋邦彦, 家原知子, 代居良太, 宗崎良太, 木下義晶, 古賀友紀, 住江愛子, 原 寿郎, 孝橋賢一, 小田義直, 菱木知郎, 檜山英三, 田口智章, 細井 創, 田尻達郎. PRETEXT III,IV M(-) 肝芽腫に対する外科治療の strategy~POSTTEXT に基づいた decision making~. 日本小児肝癌スタディグループ研究会 2012年1月29日; 東京.
- 2) 関戸菜美, 文野誠久, 金 聖和, 三浦紫津, 坂井宏平, 青井重善, 古川泰三, 田尻達郎. 卵巣嚢腫と術前診断し3回穿刺を行った腹腔内嚢腫の1例. 第67回小児外科わからん会 2012年3月24日; 大阪.
- 3) 文野誠久, 古川泰三, 小野 滋, 木村 修, 土屋邦彦, 家原知子, 代居良太, 宗崎良太, 木下義晶, 古賀友紀, 住江愛子, 原 寿郎, 孝橋賢一, 小田義直, 菱木知郎, 檜山英三, 田口智章, 細井 創, 田尻達郎. POSTTEXT に基づいた PRETEXT III,IV M(-) 肝芽腫に対する外科治療戦略. 第49回

日本小児外科学会学術集会 2012年5月14日；横浜.

- 4) 関戸茉美, 小野 滋, 石川翔一, 竹内雄毅, 三浦紫津, 坂井宏平, 文野誠久, 木村 修, 柳生茂希, 家原和子, 細井 創, 田尻達郎. 高血圧・頻脈を呈したカテコラミン産生性右副腎神経芽腫 Stage1 の1例. 第49回日本小児外科学会学術集会 2012年5月14日；横浜.
- 5) 木村幸積, 木村 修, 古川泰三, 文野誠久, 田尻達郎. 当科におけるリンパ管腫 108例の検討. 第49回日本小児外科学会学術集会 2012年5月14日；横浜.
- 6) 竹内雄毅, 木村 修, 古川泰三, 文野誠久, 田尻達郎. 当科における生後24時間以内発症の先天性横隔膜ヘルニアに対する治療成績. 第49回日本小児外科学会学術集会 2012年5月15日；横浜.
- 7) 三浦紫津, 石川翔一, 竹内雄毅, 坂井宏平, 文野誠久, 小野 滋, 田尻達郎. 肝肺癒合を伴った先天性右横隔膜ヘルニアの1例. 第49回日本小児外科学会学術集会 2012年5月15日；横浜.
- 8) 田中智子, 文野誠久, 古川泰三, 木村 修, 田尻達郎. C型食道閉鎖術後のTEF再発に対する治療方針. 第49回日本小児外科学会学術集会 2012年5月15日；横浜.
- 9) 坂井宏平, 古川泰三, 文野誠久, 木村 修, 田尻達郎. 重症心身障害児の胃食道逆流症に対する治療成績. 第49回日本小児外科学会学術集会 2012年5月15日；横浜.
- 10) 古川泰三, 木村 修, 青井重善, 文野誠久, 田尻達郎. 当院における腹腔鏡下鼠径ヘルニア根治術 (Laparoscopic Inguinal Hernia Repair) の検討. 第49回日本小児外科学会学術集会 2012年5月16日；横浜.
- 11) 石川翔一, 古川泰三, 金 聖和, 関戸茉美, 竹内雄毅, 田中智子, 木村幸積, 三浦紫津, 加藤久尚, 坂井宏平, 文野誠久, 小野 滋, 木村 修, 田尻達郎. 当院における腸重積症62例についての臨床的検討. 第49回日本小児外科学会学術集会 2012年5月16日；横浜.
- 12) 金 聖和, 文野誠久, 小野 滋, 関戸茉美, 坂井宏平, 三浦紫津, 古川泰三, 木村 修, 岡島英明, 落合登志哉, 土屋邦彦, 家原知子, 細井 創, 田尻達郎. 門脈閉塞を合併したPRETEXTIV肝芽腫の一切除例. 第49回日本小児外科学会学術集会 2012年5月16日；横浜.
- 13) 文野誠久, 青井重善, 古川泰三, 木村 修, 今村俊彦, 細井 創, 田尻達郎. 腸重積で発症した悪性リンパ腫の検討. 第9回京都小児救急疾患研究会 2012年5月26日；京都.
- 14) 金 聖和, 文野誠久, 古川泰三, 関戸茉美, 木村 修, 木戸脇智志, 土屋邦彦, 家原知子, 細井 創, 田尻達郎. 経過観察中に小腸捻転を併発した小腸リンパ管腫の一例. 第191回近畿外科学会 2012年5月26日；大阪.
- 15) 竹内雄毅, 坂井宏平, 木村 修, 田尻達郎. 腹部腫瘤により発見されたHerlyn-Werner-Wunderlich症候群の1例. 第21回日本小児泌尿器科学会総会 2012年7月5日；岡山.
- 16) 若尾純子, 文野誠久, 金 聖和, 青井重善, 古川泰三, 木村 修, 田尻達郎. 胎児リンパ管腫として治療され, 再発にて3歳時に診断し得た先天性梨状窩瘻の1例. 第48回日本小児外科学会近畿地方会 2012年8月25日；大阪.
- 17) 石川翔一, 木村 修, 文野誠久, 青井重善, 古川泰三, 田尻達郎. 新生児期に見落とされた低位鎖肛の6例. 第48回日本小児外科学会近畿地方会 2012年8月25日；大阪.
- 18) 笹栗由貴, 青井重善, 木村 修, 古川泰三, 竹内雄毅, 石川翔一, 金 聖和, 文野誠久, 田尻達郎. 外科的摘出を要した食道異物の1例. 第48回日本小児外科学会近畿地方会 2012年8月25日；大阪.
- 19) 樋口恒司, 木村 修, 古川泰三, 青井重善, 文野誠久, 木村幸積, 坂井宏平, 田尻達郎. 漏斗胸に

- 対する胸骨挙上術・Nuss法 62例の検討. 第421回日本小児科学会京都地方会 2012年9月9日; 京都.
- 20) 樋口恒司, 木村 修, 古川泰三, 青井重善, 文野誠久, 田尻達郎. 漏斗胸に対する胸腔鏡補助下胸骨挙上術～合併症を減らすひと工夫～. 第5回鏡視下手術手技研究会 2012年9月28日; 京都.
- 21) 古川泰三, 樋口恒司, 木村 修, 文野誠久, 青井重善, 田尻達郎. 当院における腹腔鏡下小児鼠径ヘルニア手術143例の検討. 第25回近畿内視鏡外科研究会 2012年9月29日; 京都.
- 22) 文野誠久, 金 聖和, 樋口恒司, 青井重善, 古川泰三, 木村 修, 岡島英明, 落合登志哉, 土屋邦彦, 家原知子, 細井 創, 田口智章, 小田義直, 田尻達郎. 門脈本幹閉塞を合併したPRETEXTIV肝芽腫症例—初診時切除困難な肝芽腫症例に対する治療戦略—. 第43回サルコクラブ 2012年11月16日; 京都.
- 23) 古川泰三, 岡島英明, 樋口恒司, 文野誠久, 青井重善, 木村 修, 田尻達郎. 多脾症を合併したo型胆道閉鎖症の一例. 第39回日本胆道閉鎖症研究会 2012年11月17日; 大阪.
- 24) 文野誠久, 木村 修, 古川泰三, 青井重善, 土屋邦彦, 家原知子, 小西英一, 細井 創, 田尻達郎. 6ヶ月未満の乳児期腎腫瘍の臨床的特徴についての検討. 第54回日本小児血液・がん学会学術集会 2012年11月30日; 横浜.
- 25) 笹栗由貴, 金 聖和, 文野誠久, 青井重善, 古川泰三, 木村 修, 土屋邦彦, 家原知子, 細井 創, 田尻達郎. 経過観察中に小腸捻転を併発した腸間膜リンパ管腫の一例. 第54回日本小児血液・がん学会学術集会 2012年11月30日; 横浜.
- 26) 木村幸積, 木村 修, 古川泰三, 文野誠久, 田尻達郎. 自験例におけるリンパ管腫115例の検討. 第54回日本小児血液・がん学会学術集会 2012年12月2日; 横浜.
- 27) 金 聖和, 文野誠久, 小野 滋, 関戸茉美, 坂井宏平, 三浦紫津, 古川泰三, 木村 修, 岡島英明, 落合登志哉, 土屋邦彦, 家原知子, 細井 創, 田尻達郎. 積極的肝切除を行った門脈閉塞を伴う肝芽腫(PRETEXTIV)の一例. 第54回日本小児血液・がん学会学術集会 2012年12月2日; 横浜.
- 28) 樋口恒司, 木村 修, 古川泰三. 腹腔鏡下に摘出し得た胆嚢重複症の一小児例. 第25回日本内視鏡外科学会総会 2012年12月6日; 横浜.
- 29) 古川泰三, 樋口恒司, 木村 修, 文野誠久, 青井重善, 田尻達郎. 腹腔鏡下小児鼠径ヘルニア根治術: 体内結紮法143例の経験. 第25回日本内視鏡外科学会総会 2012年12月6日; 横浜.

[V] 獲得研究費等

A) 文部科学省科学研究費

- 1) 田尻達郎 (代表): 基盤 C (継続) 『トランスジェニックマウスを用いた小児がんに対する新規免疫遺伝子治療法の開発』
- 2) 田尻達郎 (分担): 基盤 A (新規) 『小児肝がん研究グループによるアジア地域の小児肝がん調査と国際共同研究基盤整備』
- 3) 田尻達郎 (分担): 基盤 B (新規) 『先天性横隔膜全欠損に対する遺伝子導入および再生医療を応用した新規治療法の開発』
- 4) 田尻達郎 (分担): 基盤 C (新規) 『MYCNトランスジェニックマウスを用いた神経芽腫新規分子標的治療の開発』

京都府立医科大学大学院小児外科学研究実績

- 5) 田尻達郎（分担）：基盤 C（新規） 『小児固形悪性腫瘍における GLYPICAN3 をターゲットとした分子標的治療』
- 6) 田尻達郎（分担）：基盤 B（新規） 『腫瘍スフェア形成機構の網羅的・遺伝的解析によるがん幹細胞特異的療法の開発』
- 7) 木村 修（代表）：基盤 C（継続） 『ポリグリコール酸フェルトをマトリクスとした生体内自己小腸再生療法の開発』
- 8) 佐々木康成（代表）：基盤 C（継続） 『直腸肛門奇形 rescue program からみた後腸協調発生の分子生物学的解明』
- 9) 古川泰三（代表）：萌芽（継続） 『先天性横隔膜ヘルニアの重度肺低形成に対する胎児治療法の開発』
- 10) 坂井宏平（代表）：若手 B（継続） 『新生児壊死性腸炎に対する神経ペプチド投与による新たな治療法の開発』

B) 厚生労働省科学研究費

- 1) 田尻達郎（分担）：がん臨床研究 『神経芽腫の増殖・分化機構の解明による新規治療法の開発』
- 2) 田尻達郎（分担）：がん研究開発費 千葉がんセンター
- 3) 田尻達郎（分担）：研究開発費 難治性疾患等克服研究事業（難治性疾患克服研究事業）『小児期からの消化器系希少難治性疾患群の包括的調査研究とシームレスなガイドライン作成』

[VI] その他

*田尻達郎. 小児外科医の散歩道 小児外科の仲間を増やすには? 小児外科 44:796-797, 2012.